



橋本典明さん

はしものりあき／昭和31年生／神奈川県
横須賀市在住／栄町区出身／独立行政法人港
湾空港技術研究所・海洋水理研究室長

積極的な情報発信を
—ふるさとながと。こんにちは—

長門を離れて30年。故郷への懐かしさのためか、今も長門に関する情報をインターネットで定期的にチェックしています。

インターネットで長門を検索していると、自分の趣味や活動を長門市内から積極的に発信しておられる方、市外で活躍されている長門市出身の方々等の情報を見つけ嬉しくなり、心の中で「頑張つて」と応援したくなります。

都市圏のインターネット普及率は高く、航空券やホテルなどの予約、買い物、あるいは子供達の宿題に至るまで幅広く利用されています。全国には「金子みすゞ」をインターネットで検索したことがある子供達も多いと思います。

市の活性化のためには、長門市内での種々の活動を長門から積極的に

的に情報発信していくことも有効な手段ではないでしょうか。このことにより、長門への応援団も増えてくるし、市外に住む我々も故郷からの情報を得て元気が沸いてきます。故郷からの応援と、故郷への応援との相乗効果です。

今後も長門からの積極的な情報発信を期待しています。



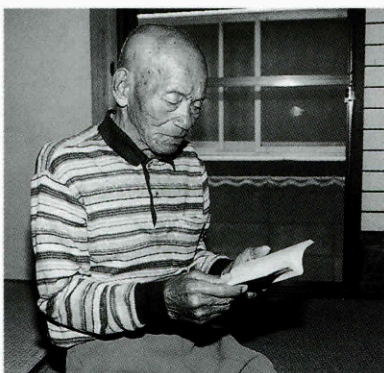
小学4年生の時、祇園祭の警固で
(2列目、右から2番目が橋本さん)

「職人気質が体にしみ込んだよ。ええ面も悪い面もあるが、思ったことはやり抜くという気持ちでこれまでやってきました」と語る上領さん。12月の誕生日で米寿を迎える。

船大工をしていたが戦争で2度の召集。帰還後は港湾土木の仕事に船大工として従事。67歳まで33年間勤めあげた。

奥さんと息子さん夫婦、3人の孫に囲まれた上領さんの日課は、読書と日記、そして散歩。

本を切らしたことがないと言うほどの活字好き。最近は夏樹静子や内田康夫などの推理小説をよく読んでいます。帰還後間もなく始めた日記は約55年間欠かしたことがない。朝夕30

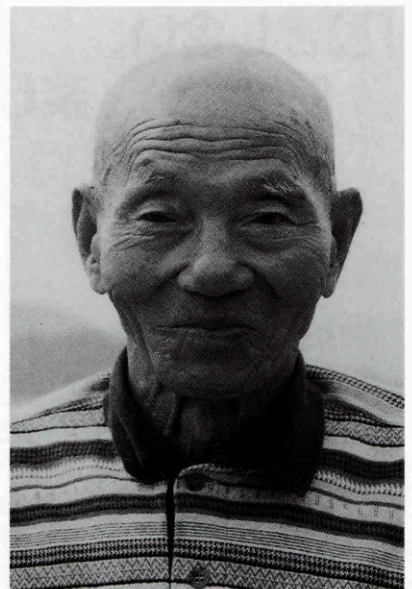


分ずつの散歩は「気分転換になるし、友達との話もできます。健康にもいいですから」と。また2日に1回は田ノ浦まで自転車で墓参りに行くという。

毎日の生活そのものが健康の源ともいえる上領さん。もう一つの楽しみは1日1合の焼酎の湯割りとか。

読書と日記と散歩

—達者です—



上領豊作さん

かみりょうとよさく／87歳／通1区